

〔平成18年度〕

## 婦人保護施設

# サービス分析シート (6. サービス提供のプロセス)

### 経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「サブカテゴリー」を確認しながら、「標準項目」にはどんな事象が該当するのか合議します。
- 2 「標準項目」を「実施している(またはしくみがある)」と確認した根拠を「確認根拠」欄に記入します。
- 3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次のすべてを満たした場合です。  
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること 3 その根拠が示せること)
- 4 「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。該当する取り組みがあれば記入します。  
(ア 当該評価項目のねらいに合致していること イ 事業所の理念・方針に合致していること ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)
- 5 すべての「標準項目」と「A+の取り組み」を記入した後、評点をつけてください。  
評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。  
A+: 標準項目をすべて満たしたうえで、A+の取り組みがある状態      A: 標準項目をすべて満たした状態  
B: 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態      C: 標準項目をひとつも満たしていない状態
- 6 すべての評価項目を記入した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。  
・サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。  
・サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。

## カテゴリー 6 サービス提供のプロセス

### サブカテゴリー 1 サービス情報の提供

<b>評価項目 1</b> <b>利用者等に対してサービスの情報を提供している</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・サービスを選択するための情報を、どのように提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない
標準項目	確認根拠	
1 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにして いる		
2 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
3 利用者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応 している		
【A + の取り組み】		

#### サブカテゴリー1のコメント

<b>良いと思う点</b>	<b>改善する必要があると思う点</b>
---------------	----------------------

サブカテゴリー 2 サービスの開始・終了時の対応

<b>評価項目 1</b> <b>サービスの開始にあたり利用者等に説明し、理解を得ている</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・サービス開始時に、利用者の状況に応じた説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、利用者意向を確認し、納得を得ているか
標準項目	確認根拠	
1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要な事項等を利用者の状況に応じて説明している		
2 サービス内容について、利用者の理解を得るようにしている		
3 サービスに関する説明の際に、利用者の意向を確認し、記録化している		
【A+の取り組み】		

平成18年度 婦人保護施設版 サービス分析シート

<b>評価項目 2</b> <b>サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか ・利用者がサービスを終了する場合、利用者の不安を除去しているか
標準項目	確認根拠	
1 サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		
2 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している		
3 サービス利用前の生活をふまえた支援をしている		
4 サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている		
【A + の取り組み】		

サブカテゴリ2のコメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

サブカテゴリー 3 個別状況に応じた計画策定・記録

<b>評価項目 1</b> 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	評点( )	評価項目のねらい ・支援をするうえで必要な利用者個人の情報をどのように把握しているか ・利用者状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか
標準項目	確認根拠	
1 利用者の心身の状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		
2 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		
3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		
【A + の取り組み】		
<b>評価項目 2</b> 利用者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	評点( )	評価項目のねらい ・利用者等の希望をどのように尊重し、計画を作成しているか ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか
標準項目	確認根拠	
1 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている		
2 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている		
3 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		
4 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している		
【A + の取り組み】		

平成18年度 婦人保護施設版 サービス分析シート

<b>評価項目 3</b>		<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・職員が、利用者の状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な支援の内容や利用者の変化等が適切に記録されているか
<b>利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している</b>			
標準項目		確認根拠	
1 利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある			
2 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している			
【A+の取り組み】			
<b>評価項目 4</b>		<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・利用者に関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の利用者の変化等をどのような方策で共有化しているか
<b>利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している</b>			
標準項目		確認根拠	
1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している			
2 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している			
【A+の取り組み】			
<b>サブカテゴリ-3のコメント</b>			
<b>良いと思う点</b>		<b>改善する必要があると思う点</b>	

サブカテゴリー 4 サービスの実施

<b>評価項目 1</b> 性的自立への支援について、一人の女性として生と性の自己決定が行えるよう、さまざまな取り組みを行っている	評点( )	評価項目のねらい ・「性」について、どのような取り組みがあるか ・研修等の有無を確認するだけではない
標準項目	確認根拠	
1 利用者が生と性の関係についての理解を深めるために、学習する機会や情報を得る機会を設定している		
2 嫌な体験について安心して感情を吐露できる場を確保している		
3 利用者が自尊感情を育てられるために具体的な取り組みをしている		
【A+の取り組み】		
<b>評価項目1のコメント</b>		
良いと思う点	改善する必要があると思う点	

<b>評価項目 2</b> <b>個別の支援計画をいかながら、自立へ向けた就労支援や生活支援のさまざまな取り組みを行っている</b>	<b>評点( )</b>	<b>評価項目のねらい</b> ・サブカテゴリー3で策定した計画の記載内容が、どのように実践されているか ・利用者との十分な意思疎通を基に、自立に向けた支援をしている
<b>標準項目</b>	<b>確認根拠</b>	
1 安定した就労のために、必要に応じて相談に応じたり雇用先との関係調整や開拓を行ったりしている		
2 就労困難な利用者への自立支援に向けた寮内作業を用意し、個別の状況に合わせた支援を行っている		
3 地域で自立した生活を行うためのプログラム(料理実習、買い物、各種行政手続、社会的なしくみ、TPOに合わせた服装・化粧等)を用意するなど、個別に具体的な支援を行っている		
4 金銭の自己管理が難しい利用者へは、少しでも自己管理ができるよう、利用者の意思を尊重した方法(使途、管理方法)で支援を行っている		
5 利用者の借金については、返済計画や方法を利用者とともに考えるなどの支援をしている		
6 退所後の支援に関しても必要に応じて関係機関と連携するなど、個別の事情に応じた支援を行っている		
【A + の取り組み】		

**評価項目2のコメント**

<b>良いと思う点</b>	<b>改善する必要があると思う点</b>
---------------	----------------------



平成18年度 婦人保護施設版 サービス分析シート

<b>評価項目 3</b>		<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・利用者の状況や意向を尊重した食事提供や支援がされているか ・利用者が食事を楽しむことができるか
<b>利用者の状況に配慮し、おいしい食事を提供している</b>			
標準項目		確認根拠	
1 食事時間は利用者の希望に応じて、一定の時間内で延長やずらすことができる			
2 カフェテリア方式、複式献立、外食等利用者が食事を選択できるようにしている			
3 利用者の状況に応じて、メニューを変更することができる			
4 食器や食堂の環境整備により、食事を楽しむ工夫をしている			
【A + の取り組み】			
<b>評価項目3のコメント</b>			
<b>良いと思う点</b>		<b>改善する必要があると思う点</b>	

平成18年度 婦人保護施設版 サービス分析シート

<b>評価項目 4</b>		<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・利用者の希望を考慮しているか ・浴室の安全面、衛生面について確保されているか	
<b>入浴の支援は、利用者の状況や希望を反映して行っている</b>				
標準項目		確認根拠		
1 浴室や脱衣室は清潔で、快適な状態にしている				
2 浴室が一度に混み合わず、スムーズに入浴ができるよう配慮をしている				
3 入浴する時間や回数等は、利用者の個別状況や希望に応えられるよう工夫をしている				
【A+の取り組み】				
<b>評価項目4のコメント</b>				
良いと思う点		改善する必要があると思う点		

評価項目 5 利用者の心身の健康を維持するための取り組みを行っている		評点( )	評価項目のねらい ・個別の状況に応じて、健康を維持する支援をしているか ・医療機関との連携を基に、利用者の健康維持策を講じているか
標準項目		確認根拠	
1	健康診断の結果について、本人が理解できるように知らせる等、利用者の健康状態への意識を高める工夫をしている		
2	心身の健康に関する利用者からの相談に応じる体制を整えている		
3	服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている		
4	服薬に関しては自己管理への工夫した取り組み等、利用者一人ひとりに応じた支援を行っている		
5	日頃から医療機関と連携を図り、速やかに対応できる体制を整えている		
6	精神的ケアが必要な利用者に対する援助の基本的な考え方を、職員全体に周知徹底している		
7	心身の健康を維持するため、必要に応じ専門家が対応している		
【A + の取り組み】			
<b>評価項目5のコメント</b>			
良いと思う点		改善する必要があると思う点	

<b>評価項目 6</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・利用者の意向は日常生活で尊重されているか ・利用者にとっての望ましい環境が整備されているか	
<b>施設の生活は、楽しく快適である</b>		<b>標準項目</b>	<b>確認根拠</b>
		1 環境整備により利用者がやすらげる雰囲気づくりをしている	
		2 施設での生活は、他の利用者への迷惑や健康面に影響を及ぼさない範囲で、原則として自由である	
		3 利用者一人ひとりに応じた日常生活の時間を過ごせるよう環境を整えている	
		4 余暇活動のプログラムは利用者の希望に応じたものを作成している	
		5 事業所外での活動には、原則として自由に参加することができるようにしている	
		6 施設の生活ルールは利用者の意見を参考にするなど随時見直しを行っている	
		【A + の取り組み】	
<b>評価項目6のコメント</b>			
<b>良いと思う点</b>		<b>改善する必要があると思う点</b>	

<b>評価項目 7</b> <b>本人の安全を最優先としながら、母子・家族関係の維持・再構築のための支援を行っている</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・利用者の立場に立って、人間関係の修復等に取り組んでいるか ・利用者の安全に配慮した支援をしているか
標準項目		確認根拠
1 利用者の意思を尊重し、個別の状況に配慮した家族等への情報提供を行っている		
2 法的な手続きが必要な利用者について対応を行っている		
3 【同伴乳児対象の事業所に限る】 同伴乳児が安心・安定して生活できるよう支援している		
【A+の取り組み】		

**評価項目7のコメント**

<b>良いと思う点</b>	<b>改善する必要があると思う点</b>

平成18年度 婦人保護施設版 サービス分析シート

<b>評価項目 8</b> <b>地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・地域性に応じ、利用者が地域の一員として生活する機会を創っているか ・利用者の利益を最優先した、地域との関係作りとなっているか
標準項目	確認根拠	
1 地域との関わりについての基本的な考え方を明示している		
2 地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している		
【A + の取り組み】		
<b>評価項目8のコメント</b>		
<b>良いと思う点</b>	<b>改善する必要があると思う点</b>	

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

<p><b>評価項目 1</b> <b>利用者のプライバシー保護を徹底している</b></p>	<p><b>評点( )</b></p>	<p>評価項目のねらい ・日常の中で、どのように利用者のプライバシーの保護をしているのか ・個々の職員のみならず、組織的な対応がされているか</p>
<p>標準項目</p>	<p>確認根拠</p>	
<p>1 利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている</p>		
<p>2 個人の所有物や個人宛文書の取り扱い、利用者のプライベートな空間への出入り等、日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している</p>		
<p>3 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている</p>		
<p>【A+の取り組み】</p>		

平成18年度 婦人保護施設版 サービス分析シート

<b>評価項目 2</b> <b>サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・日常の中で、利用者の権利を擁護し、不適切な対応を排除しているか ・利用者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか
標準項目	確認根拠	
1 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)		
2 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		
3 虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
4 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		
【A + の取り組み】		

サブカテゴリ5のコメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------



サブカテゴリー 6 事業所業務の標準化

<b>評価項目 1</b> <b>手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている</b>		<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・業務の一定水準を確保するため、手引書等を整備しているか ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない
標準項目		確認根拠	
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている			
2 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている			
3 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している			
4 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している			
【A+の取り組み】			
<b>評価項目 2</b> <b>サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている</b>		<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・業務の標準レベルを見直す仕組みをどのように確立しているか ・よりよいサービス提供を全体化するため、どのような工夫をしているか
標準項目		確認根拠	
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている			
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている			
3 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる			
【A+の取り組み】			

<b>評価項目 3</b>	<b>評点( )</b>	評価項目のねらい ・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか ・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する
<b>さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している</b>		
標準項目		確認根拠
1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		
2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		
3 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている		
4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		
5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		
【A+の取り組み】		

**サブカテゴリ6のコメント**

<b>良いと思う点</b>	<b>改善する必要があると思う点</b>